

平成27年度第1回 秋田県地域医療対策協議会（議事要旨）

- 1 日 時 平成28年2月5日（金） 午後4時から午後5時30分まで
- 2 場 所 ルポールみずほ 2階「きり」
- 3 出席者 委員20名中11名出席
- 4 議事（要旨）

（1）新委員紹介

医療法の改正により、地域医療機能推進機構秋田病院長があらたに委員に就任した。また、一部委員の交代があり、新委員の紹介が行われた。

（2）医師不足・偏在改善計画の進捗状況

事務局から医師不足・偏在改善計画の策定経緯と概要について、

- 1 平成26年末に行われた「医師・歯科医師・薬剤師調査」では、医師数が前回調査から47人増加し2,355人となったほか、二次医療圏別の人口10万対医師数では地域偏在が拡大しており、秋田周辺医療圏で初めて300人を超えた。年齢区分別医師数では50歳代医師が最大となり、増加を続けている女性医師の割合が16.9%に達している。
- 2 平成27年10月に県が行った「医師充足状況調査」では、平成23年と比較して医師が12人増加したが、年次計画医師数を46人下回っており、診療科別の達成状況では、内科、精神科、外科、整形外科、眼科で年次計画医師数を下回っている。
- 3 平成28年度の医師臨床研修マッチング数は、平成27年と比較して20人増加し、過去最高の84人となっており、秋田大学の地域枠を除いてもマッチングが増加している。

などの説明の他、関連する事業の実施状況の説明があった。

委員からは、新しい専門医研修では秋田県の研修環境の良さを示す必要があるという指摘、若い医師の県外流出を防ぐには、病院の年齢構成を変えていく方策が必要という意見があった。

地域偏在の改善策に関して、地域医療連携推進法人については、人事を一元化することが可能となり得るとの意見があった一方で、医師は法人ではなく病院に勤務している意識が強いので、人事交流はハードルが高いとする意見もあった。

また、秋田県全体の医師を増やすのなら、増えるのが秋田市であっても良く、協議会として県全体の医師不足の改善を目指すのか、県内の地域偏在の改善を目指すのか、はっきりさせた方が良いとの意見もあった。

診療科の偏在については、県内の消化器内科医は結構多いが、開業者が多いため病院には少なく、循環器内科は夜中も呼ばれるなど勤務が結構ハードであるので敬遠されがちであると、現状の見解が示された。

そのほか、県の修学資金制度や効果について質問があり、事務局から、知事指定の制度は平成20年度の貸付からの開始であり、対象者が28年4月から指定

の対象になるため、効果は今後現れてくるとの回答があった。

以上で、予定された議事全てを終了し閉会した。